



地域内交通 × 子どもの家

交通インフラチーム

民間3名 市2名

目次

- ①目的
- ②地域内交通とは
- ③これまでの活動（中間報告会まで）
- ④中間報告会以降の活動
- ⑤今後の展望
- ⑥今後の課題
- ⑦まとめ～交通チームが目指す未来～

①目的

私たち交通インフラチームは、高齢者の利用のイメージが強い地域内交通を子どもの家の送迎に活用することで、若年層の利用者を増やします！

私たちが地域内交通と子どもの家との架け橋になることで、お仕事でなかなか子どもの家のお迎えに行けない、ママさんパパさんたち子育て世代の支援になると考えています。



②地域内交通とは？



地域内交通

宇都宮市内で、公共交通機関の補助的な役割を担っており日常生活に必要な移動や、通院、買い物、市民センターまでの家と施設を結ぶ公共交通の一つ。

運行方式

- ・ 定時定路方式・・・決まったルート，時間で運行（バス）
- ・ デマンド方式・・・予約時応じて自宅などから目的地まで運行

運行地域は市内15地区18路線が運行中，一部交通系ICカードも使用可能
利用料は300円，小学生は150円，未就学児は無料！

地域内交通を
若者にも広めたい！！

地域内交通×学童

すべての世代の乗り物へ進化

③これまでの活動（中間報告会まで）

- 宇都宮市交通政策課へのヒアリング
- 子どもの家へのヒアリング
- 地区市民センターへのヒアリング

④中間報告会以降の主な活動内容

- 1. 生涯学習課へのヒアリング
- 2. 国本地区市民センター・交通政策課・交通インフラチームの三者間ミーティング



1. 生涯学習課へのヒアリング

これまでの子どもの家等へのヒアリングの中で出た懸念点や疑問点を，生涯学習課へヒアリングして来ました。

○生涯学習課の意見

地域内交通での送迎を利用する際の懸念点は，引き渡すと，複数名の乗り合わせがあった場合，子どもから目を離す可能性があること。

1. 生涯学習課へのヒアリング

○ヒアリングを経てわかったこと

・子どもの家の送迎に関して，18歳以上の保護者でなければ引き渡しができないのか。

⇒事前に保護者から連絡があれば，地域内交通の運転手の送迎でも問題ない。ただし，子どもの家の玄関まで送迎ができる場合に限る。

・帰宅時に保護者が不在の場合，地域内交通での送迎は可能か。

⇒不在でも問題はない。

・夏休みや冬休み等，長期休暇時に地域内交通の活用は可能か。

⇒夏休み・冬休みの子どもの家利用者は，通常時より1，500人程度増える。

その場合，朝の時間帯（7：30～）の送迎の方が需要はあるかもしれない。



2. 国本地区市民センター・交通政策課・交通インフラチームの三者間ミーティング

○ミーティングで交通チームが知りたいこと

- ・これまでのヒアリングで、子どもの家の朝の送迎に需要があるとわかったが、その時間帯に地域内交通は運行していない。朝の便の新設は可能か。

- ・地域内交通の「目的施設」の追加は可能か。

2. 国本地区市民センター・交通政策課・交通インフラチームの三者間ミーティング

○ミーティングで発見した，できること・できないこと

交通政策課	国本地区市民センター
<ul style="list-style-type: none">・地域内交通は習い事の送迎に利用できる。（地区を離れなければ）・地域内交通は目的施設に登録されている場所でないと乗り降りできない。・基本，地域外に目的施設は登録できない。・便の新設は，理論上は可能（国土交通省からの認可を受ける必要がある。）・便を増やすと運賃が上がる可能性もある。	<ul style="list-style-type: none">・小学生だけで地域内交通を利用している実績（ただし，兄弟での利用）がある。・地域内交通の目的地として登録できるスタートは自宅のみ。・子どもが乗り合わせるときが心配。（意見）・子どもの安全確保の点としては，家から乗るべき。

今後の展望

- うつのみやオリーブ様との話し合い。
- 子どもの家へのアンケート
- 地域内交通⇔子どもの家の試験運用

⑥今後の課題

○これまでの活動から得た，地域内交通を活用した子どもの家の送迎の実現に向けた課題

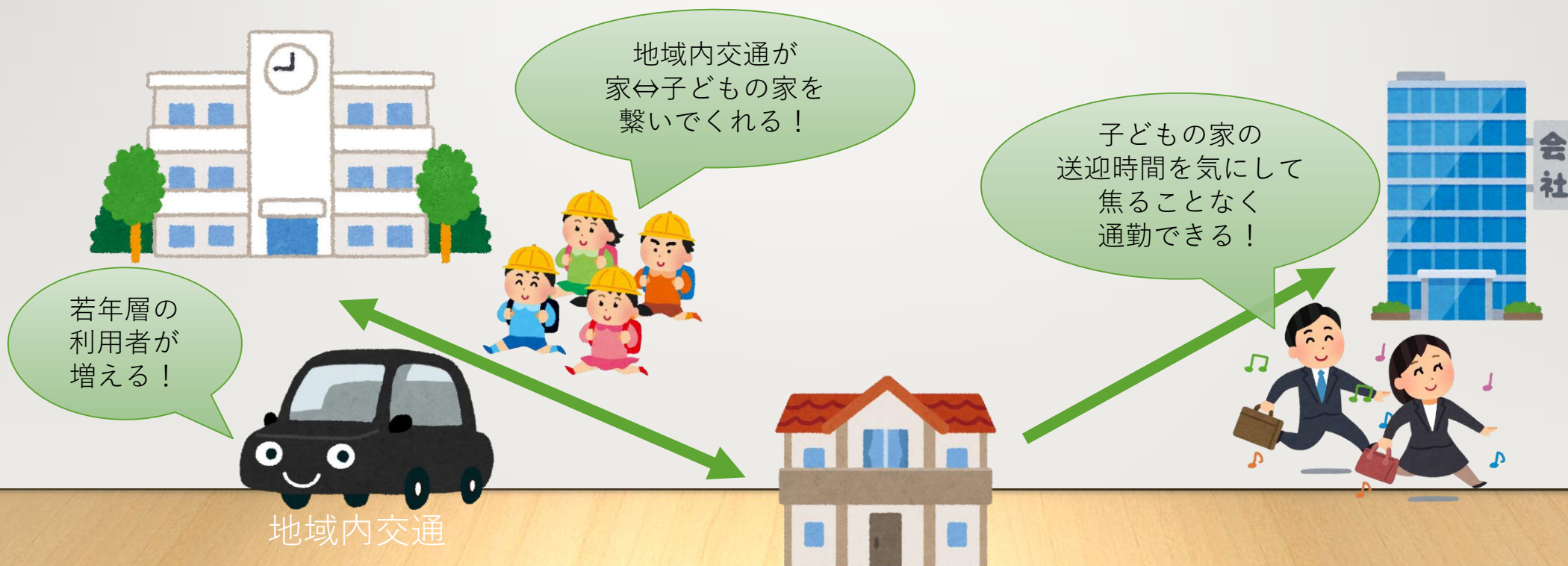
- ・地域内交通の運転手が，子どもの家の玄関まで送迎をすることは可能か。
- ・乗り合わせの問題をクリアできるか。
- ・送迎の需要がある時間帯に地域内交通を運行できるか。


課題をクリアできた場合...

- * 子どもの家の送迎がラクになる！
- * 送迎の時間を気にする必要がなくなり，保護者が安心して働ける！
- * 地域内交通を子どもが利用することで，活気が生まれる！

⑦まとめ～交通チームが目指す未来～

地域内交通を上手に活用し、子どもが元気に子どもの家に通い、
保護者が安心して働ける未来😊





～ご清聴ありがとうございました～